



# 羅針盤

2013年度 第6号  
都立豊多摩高等学校  
進路図書部  
2013. 6.26



いよいよ来週は期末考査です。手抜きをせずに勉強しましょう。「ここは間に合わないから、出題されないほうに賭けよう」などと思うと、必ず痛い目にあうものです。特に3年生は評定平均値に大きく影響するので、全ての科目を頑張りましょう。



そして、期末が終わると実力テストです。「実力だから準備はいらぬ」などと思う人もいますが、決してそんなことはありません。やはり大事な公式や、重要表現などをさっと復習してから試験に臨むべきです。

また、2年生は初めて志望校を記入するテストです。担任の先生からも指示があったことと思いますが、当日に迷っている時間は無いので、あらかじめリストを作っておきましょう。下の項にも書きましたが、「挑戦校」「実力相応校」「合格確保校」のそれぞれにつき2~3校ずつ選びましょう。豊多摩高校のHPや「進路のしおり」を参考にして、主に先輩たちの進んだ学校を中心に候補校を探し、保護者と良く相談しながらリストを作ってください。



またまたオープンキャンパス情報です。夏休みには多数の大学が開催し、ピークは8月3日(土)、4日(日)です。3年生は志望校の最新資料を手に入れておく機会です。特に推薦やAOを考えている人はぜひ参加してください。2年生は、「挑戦校」「実力相応校」「合格確保校」のイメージでそれぞれ1校ずつくらいは行っておきたいところです。1年生はまだどこに行けばよいのか皆目分からないかもしれませんが、とりあえず先輩たちのたくさん行っている学校に行ってみましょう。

下はごく一部です。自分で資料を検索しましょう。

6月29日(土)

聖路加看護・千葉経済

6月30日(日)

関東学院・帝京平成・和光

7月6日(土)

帝京・東京国際・東京女子

7月7日(日)

成城・千葉商科・帝京平成・東京歯科・東京未来・

日本医療科学・ものづくり

7月13日(土)

お茶の水女子・千葉県立保健医療・

嘉悦・駒澤女子・東京家政・東京慈恵会医科・日本社会事業・文化学園・武蔵野

7月14日(日)

電機通信

亜細亜・国学院・駒澤・白梅学園・専修・玉川・東海・東京女子・東京成徳・東洋・日本・日本獣医生命科学・明星・目白

<裏面へ続く>



7月15日（月・祝）

実践女子・女子美術・東京工科・東京女子体育・東洋

7月20日（土）

跡見学園女子・共立女子・国際基督教・多摩美術・東京医療保健・東京都市・東邦・日本女子体育

7月21日（日）

国立看護

中央・東京有明医療・日本



あとひと頑張りです。まとまった時間がとれるようになります。ぜひ読書を楽しみましょう！図書館からもお薦めの図書が紹介されていますが、小論文対策に向けた本として榊ベネッセが推薦する図書が下の本です。特に小論文が必要でなくとも、高校生としての教養という面から、いくつか読んで見ると良いでしょう。

#### 【3年生向け】



「わかる」とは何か（長尾真）・「生きがいについて」（神谷美恵子）・「続・悩む力」（姜尚中）・「里」という思想（内山節）・「日本辺境論」（内田樹）・「子どもの貧困-日本の不公平を考える-」（阿部彩）・「<私>時代のデモクラシー」（宇野重規）・「ケアの社会学—当事者主権の福祉社会へ」（上野千鶴子）・「認められたい」の正体-承認不安の時代（山竹伸二）・「日本の論点」（文藝春秋）・「脳」整理法（茂木 健一郎）・「希望のつくり方」（玄田有史）・「痴呆老人」は何を見ているか（大井玄）・「日本の教育格差」（橋木俊詔）・「異文化理解」（青木保）・「教養」とは何か（阿部謹也）・「人間の安全保障」（アマルティア・セン）・「地域のカ-食・農・まちづくり」（大江正章）・「聴く」ことのカ-臨床哲学試論（鷲田清一）・「世間」とは何か（阿部謹也）・「市民」とは誰か-戦後民主主義を問いなおす（佐伯啓思）・「医療の限界」（小松秀樹）・「小さな政府」を問いなおす（岩田規久男）・「<考える>とはどういうことか？-思考・論理・倫理・レトリック」（井崎正敏）

#### 【2年生向け】



「思考の整理学」（外山滋比古）・「わかりやすいはわかりにくい？ 臨床哲学講座」（鷲田清一）・「絶望の国の幸福な若者たち」（古市憲寿）・「老いるということ」（黒井千次）・「これからの「正義」の話をしよう」（マイケル サンデル）・「家族という意志—よるべなき時代を生きる」（芹沢俊介）・「疑似科学入門」（池内了）・「若者の法則」（香山リカ）・「キャラ化する／される子どもたち」（土井隆義）・「日本語が亡びるとき—英語の世紀の中で」（水村美苗）・「他人を見下す若者たち」（速水敏彦）・「生きる意味」（上田紀行）・「下流志向-学ばない子どもたち 働かない若者たち」（内田樹）・「少子社会日本-もうひとつの格差のゆくえ」（山田昌弘）・「安全と安心の科学」（村上陽一郎）・「考えないヒト-ケータイ依存で退化した日本人」（正高信男）・「ウェブ社会をどう生きるか」（西垣通）・「生と死の現在（いま）」（読売新聞北陸支社）・「<聞く力>を鍛える」（伊藤進）・「人間は遺伝か環境か？-遺伝的プログラム論」（日高敏隆）

#### 【1年生向け】



「コミュニケーション力」（齋藤孝）・「友だち地獄-「空気を読む」世代のサバイバル」（土井隆義）・「子どもが育つ条件-家族心理学から考える」（柏木恵子）・「生物と無生物のあいだ」（福岡伸一）・「分かち合い」の経済学（神野直彦）・「子どもと学校」（河合隼雄）・「教育力」（齋藤孝）・「待つ」ということ（鷲田清一）・「日本文化における時間と空間」（加藤周一）・「理科系の作文技術」（木下是雄）・「健康・老化・寿命-人といのちの文化誌」（黒木登志夫）・「食」の課外授業（西江雅之）

以上